

 情報と職業

Information and Vocation

MIWA Akira

三輪 全

科目ナンバリング：UTL-3-101-02



■授業の目的及び到達目標

本講座は、共通教科「情報」と専門教科「情報」に関する教員免許を取得するための教職に関する必修科目である。共通教科「情報」の指導目標は、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラル、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解することである。本講座は、これらの指導目標を具現化するために、共通教科「情報」を中心として、情報教育の指導者としての基本的な資質を高めることを目指すものである。

■授業計画

- 1 オリエンテーション・コンピュータの歴史 1
本科目の目標、授業計画、評価基準などの授業全般についてのオリエンテーションと、各講義の概要について触れる。また、コンピュータの歴史について、創世記の内容を学習する。
- 2 コンピュータの歴史 2
コンピュータの発展の歴史について、ネットワークの普及、Web コンピューティングやクラウドコンピューティングなど、現代のコンピュータ環境について学習する。ここまでの講義内容を、情報科の教育にどのように活かすかレポートを課す。
- 3 情報産業の現状と将来
i-japan 戦略やスマートコミュニティ、SNS、コンピュータを用いた新たな産業などについて学習する。
- 4 ビッグデータの活用
ビッグデータとは何か、ビッグデータの活用例、有用性などについて学習する。活用例については、実例を検索し、その結果を発表する。
- 5 IT の職種
職業分類、IT 関連の職種、IT 人材に求められる資質などについて学習する。あわせて、各職種に求められる資格についても学習する。
- 6 情報モラル 1
IT 技術者の倫理観や IT 関連の法律について学習する。法律についてはどのような場面でその法律が利用されているのが検索し、その結果を発表する。
- 7 情報モラル 2
特許権、実用新案権、商標権、著作権、著作隣接権など IT 関連の知的財産権について学習する。
- 8 情報モラル 3
サイバー犯罪やネットワーク犯罪など、インターネット上で起こった事件について学習する。実例を検索し、その結果を発表する。
- 9 情報モラル 4
情報モラルについての授業計画を立案する。50 分の時間の中で情報モラルについてどのような授業を行うか、どのような資料を用意するかなどを検討し、指導案を作成する。
- 10 情報モラル 5
情報モラル 4 で作成した指導案に基づき、模擬授業を実施する。受講者全員で模擬授業を評価し、改善点を見つけて出す。
- 11 情報産業における業務
情報産業における業務、プロジェクトとその進め方、コミュニケーションやコミュニケーションツール、リーダーシップ論について学習する。
- 12 IT 技術者の勤労観・IT 産業の問題点と解決策
IT 技術者の労働環境の変化、勤労観について学習する。あらかじめ、自分自身の目標とする職業人、社会人についてまとめておき、その内容と対比しながら学習を進める。また、IT 産業全体の問題点を、これまでの講義の内容を踏まえて検索し、自分なりの解決策を提案する。提案内容については受講者全員で評価し、討論する。
- 13 まとめとテスト
情報と職業全般についてまとめをおこない、テストを実施する。テストは添削し、返却時にフィードバックをおこなう。

■授業の方法

教科書を中心とした講義形態を基本とする。ただし、単元の内容により、PC を利用した実習や、発表などの形態で実施する。

■予習・復習

あらかじめ教科書を読み、重要箇所をまとめるなどして、学習内容の理解を深められるようにする。授業後はテキスト、ノートなどをもとに毎回の講義をまとめ振り返る。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

課題の提出(35%)、テストと模擬授業(35%)、授業貢献度(30%)の割合(予定)で総合的に評価する。

■教科書・参考書

教科書 情報と職業 第2版 廣石良雄 エスシーシー(変更する場合もあり)

参考書 高等学校学習指導要領 解説(情報編) 開隆堂

■関連する科目

情報科教育法のほか、情報科教員免許取得のために必要な教職課程の科目

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

高等学校情報科教諭の経験を活かし、現場で実際に指導されている事例などを交えながら授業を展開する。